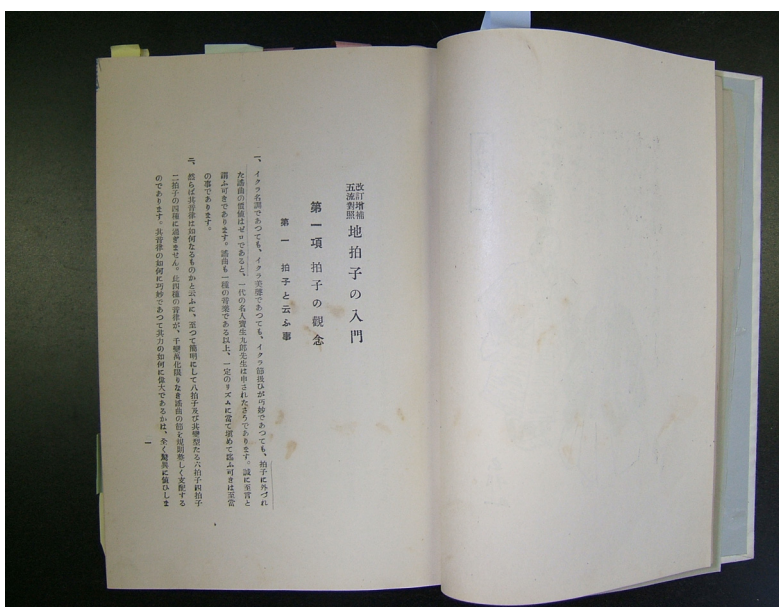
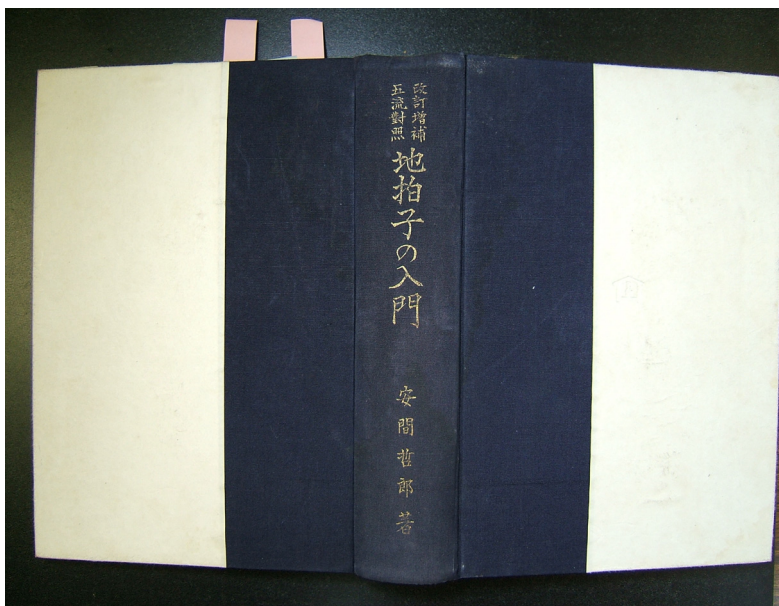


安間哲郎 『改訂増補五流対照 地拍子の入門』

74頁の改訂増補版。謡本の節に配慮しつつ地拍子を分類する点に、山崎の『地拍子精義』（72頁）にはない獨創性が認められる。たとえば、平ノリの「当るヤ」は上句五文字、「当るヤヲハ」は上句二文字を規範とし、それらは「ヤ」や「ヤヲハ」の間の例外ではないとする指摘は、増節の丁寧な観察から生まれた貴重な発見である。また、八拍子の八拍を均質に見るのではなく奇数拍（打つ拍子）と偶数拍（コム拍子）に分ける伝統的観点も紹介し、拍子のデリケートさに対するセンチティブな目配りがある。



標題 内題…改訂増補五流対照 地拍子の入

門

標題紙…改訂増補五流対照 地拍子の入

門 全

奥 附…改訂増補五流対照 地拍子の入

門

その他…改訂増補五流対照 地拍子の入

門 (目次・奥題・背)

著者 奥 附…安間哲郎

その他の場所…

出版 版次…改訂再版

出版地…東京

出版社…わんや書店

出版年…昭和9 (1934)

その他の場所…改訂増補序 昭和9

(1934)

形態 冊数…一冊 頁数…五七一頁

寸法…22×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 初版は昭和五(一九三〇)年の『実験謡

曲拍子の入門』。